



その他の [システム (System)] メニュー オプション

次の各項では、[システム (System)] メニュー オプションについて簡単に説明します。これらのオプションの詳細については、他のマニュアルで説明されています。そのような [システム (System)] メニュー オプションそれぞれについて、該当する他のマニュアルを示しています。

- 「プレゼンス グループの設定」 (P.25-1)
- 「デバイス モビリティ グループの設定」 (P.25-2)
- 「デバイス モビリティ情報の設定」 (P.25-2)
- 「物理ロケーションの設定」 (P.25-2)
- 「証明書の設定」 (P.25-3)
- 「電話機のセキュリティ プロファイルの設定」 (P.25-3)
- 「SIP トランクのセキュリティ プロファイルの設定」 (P.25-3)
- 「CUMA サーバのセキュリティ プロファイルの設定」 (P.25-4)
- 「ライセンス ユニット レポートの設定」 (P.25-4)
- 「位置情報の設定」 (P.25-5)
- 「位置情報フィルタの設定」 (P.25-5)

プレゼンス グループの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム (System)] > [プレゼンスグループ (Presence Group)] メニュー パスを使用して、プレゼンス グループを設定します。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでプレゼンスを設定すると、関係するユーザ (ウォッチャーと呼ばれます) が、電話番号または SIP URI (プレゼンス エンティティ) のリアルタイム ステータスをウォッチャーのデバイスから監視できるようになります。

プレゼンス グループを使用してウォッチャーがどの対象を監視できるかは、Cisco Unified Communications Manager が制御します。プレゼンス グループは、ウォッチャー、およびグループ内のウォッチャーが監視できる対象を保持しています。あるグループに含まれているウォッチャーが他のグループ内の電話番号を監視できるようにするには、権限の設定値を指定して、プレゼンス要求を許可またはブロック (拒否) します。プレゼンス許可が作用するのは、対象のステータスを監視する権限をウォッチャーが持つことを必須としているプレゼンス グループです。

プレゼンス グループを設定したら、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで次の項目にプレゼンス グループを適用します。

- 電話番号：ステータスの監視対象となるプレゼンス エンティティ
- SIP トランク：ウォッチャー
- SIP を実行している電話機：ウォッチャー
- Skinny Call Control Protocol (SCCP) を実行している電話機：ウォッチャー
- アプリケーション ユーザ：ウォッチャー
- エンド ユーザ：ウォッチャー

プレゼンス グループの設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[プレゼンス](#)」の章を参照してください。

デバイス モビリティ グループの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [デバイスモビリティ(Device Mobility)] > [デバイスモビリティグループ(Device Mobility Group)] メニュー パスを使用して、デバイス モビリティ グループを設定します。

デバイス モビリティ グループは、デバイスのモビリティ機能をサポートしています。デバイス モビリティ グループは、ネットワーク内の最上位レベルの地域エンティティを表しています。ネットワークのサイズと範囲に応じて、デバイス モビリティ グループは国、地域、州や都道府県、市町村などのエンティティを表現します。たとえば、世界的規模のネットワークを持つ企業が、各国を表すデバイス モビリティ グループを設定することもあれば、国内または地域内ネットワークを持つ企業が、州、都道府県、市町村を表すデバイス モビリティ グループを設定することもあります。

デバイス モビリティ機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[デバイス モビリティ](#)」を参照してください。

デバイス モビリティ情報の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [デバイスモビリティ(Device Mobility)] > [デバイスモビリティ情報(Device Mobility Info)] メニュー パスを使用して、デバイス モビリティ情報を設定します。

[デバイスモビリティ情報の設定(Device Mobility Info Configuration)] ウィンドウでは、デバイス モビリティ用に使用するサブネットとデバイス プールを指定します。電話機が Cisco Unified Communications Manager に登録されると、デバイスの IP アドレスが、[デバイスモビリティ情報の設定(Device Mobility Info Configuration)] ウィンドウで指定され、デバイス プールの 1 つに関連付けられたデバイス モビリティ サブネットと比較されます。

一致したサブネットが、そのデバイスのデバイス モビリティ用のホーム サブネットになります。

デバイス モビリティ機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[デバイス モビリティ](#)」を参照してください。

物理ロケーションの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [物理ロケーション(Physical Location)] メニュー パスを使用して、物理ロケーションを設定します。

物理ロケーションは、デバイス モビリティ機能をサポートしています。物理ロケーションを利用すると、特定の地理的な場所に関連したパラメータを、他のパラメータと区別することができます。たとえば、企業内の特定のオフィスまたはキャンパスを対象としたメディア リソース サーバがあるとします。デバイスが別のオフィスまたはキャンパスにローミングされ、Cisco Unified Communications Manager に登録された場合は、ローミング先のロケーションのメディア リソース サーバがそのデバイスを処理するようにします。メディア サービスの利用に応じた物理ロケーションを定義すると、デバイスがある物理ロケーションから別の物理ロケーションへ移動するのに従って、効率的でコスト効果の高いサービスの再割り当てを保証できます。ネットワーク構造とサービスの割り当てに応じて、市町村、企業キャンパス、または建物に基づいた物理ロケーションを定義できます。

デバイス モビリティ機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[デバイス モビリティ](#)」を参照してください。

証明書の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [セキュリティ(Security)] > [証明書(Certificate)] メニュー パスを使用して、証明書を設定します。

電話機のセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [セキュリティ(Security)] > [電話セキュリティプロファイル(Phone Security Profile)] メニュー パスを使用して、電話セキュリティ プロファイルを設定します。

[電話セキュリティプロファイル(Phone Security Profile)] ウィンドウに含まれているセキュリティ関連の設定値には、デバイス セキュリティ モード、Certificate Authority Proxy Function (CAPF) の設定値、ダイジェスト認証の設定値 (SIP を実行している電話機のみ)、暗号化された設定ファイルの設定値などがあります。セキュリティ プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したすべての電話機に適用する必要があります。

電話機のセキュリティ プロファイルの設定と適用については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

SIP トランクのセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [セキュリティ(Security)] > [SIP トランクセキュリティプロファイル(SIP Trunk Security Profile)] メニュー パスを使用して、SIP トランク セキュリティ プロファイルを設定します。

[SIP トランクセキュリティプロファイルの設定(SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウに含まれているセキュリティ関連の設定値には、デバイス セキュリティ モード、ダイジェスト認証の設定値、着信 SIP メッセージの認証の設定値などがあります。セキュリティ プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したすべての SIP トランクに適用する必要があります。

SIP トランクのセキュリティ プロファイルの設定と適用については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

CUMA サーバのセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [セキュリティ(Security)] > [CUMA サーバセキュリティプロファイル(CUMA Server Security Profile)] メニュー パスを使用して、CUMA サーバセキュリティ プロファイルを設定します。

[CUMA サーバセキュリティプロファイル(CUMA Server Security Profile)] ウィンドウに含まれているセキュリティ関連の設定値には、デバイスセキュリティ モード、着信トランスポート タイプ、X.509 の件名などがあります。このセキュリティ プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページのデバイス設定ウィンドウで設定する Cisco Unified Mobile Communicator クライアントすべてに自動的に適用されます。

Cisco Unity Mobility Advantage (CUMA) サーバのセキュリティ プロファイルの設定については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。CUMA サーバのセキュリティ プロファイルのセットアップについては、Cisco Unified Mobility Advantage のマニュアルを参照してください。Cisco Unified Communications Manager で設定する CUMA セキュリティ プロファイルが CUMA サーバ上のセキュリティ プロファイルと一致していることを確認してください。

ライセンス ユニット レポートの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [ライセンス(Licensing)] > [ライセンスユニットレポート(License Unit Report)] メニュー パスを使用して、ライセンス ユニット レポートを設定します。

ライセンス ユニット 計算の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [ライセンス(Licensing)] > [ライセンスユニット計算(License Unit Calculator)] メニュー パスを使用して、ライセンス ユニットの計算をします。

ライセンス ファイルのアップロードの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [ライセンス(Licensing)] > [ライセンスファイルのアップロード(License File Upload)] メニュー パスを使用して、ライセンス ファイルをアップロードします。

機能割り当ての設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [ライセンス(Licensing)] > [機能割り当て(Capabilities Assignment)] メニュー パスを使用して、機能割り当てを設定します。

位置情報の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [位置情報の設定 (Geolocation Configuration)] メニュー パスを使用して、地理的ロケーションのフィルタとともに使用する地理的ロケーション、および論理パーティションやその他の機能をプロビジョニングするための論理パーティション ポリシーを設定します。



ヒント

ロケーションと位置情報を混同しないでください。ロケーションは、[システム(System)] > [ロケーション(Location)] メニュー オプションで設定します。ロケーションでは、中央集中型コール処理システムが Call Admission Control (CAC; コール アドミッション制御) を提供するために使用するエンティティを定義できます。位置情報は、[システム(System)] > [位置情報の設定 (Geolocation Configuration)] メニュー オプションで設定します。位置情報では、論理パーティションなどの機能用に Cisco Unified Communications Manager デバイスと関連付けるために使用する地理的ロケーションを指定できます。

設定の詳細など、位置情報の説明については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[位置情報およびロケーション伝達](#)」の章の「[位置情報について](#)」および「[位置情報の設定](#)」を参照してください。

論理パーティション機能での位置情報の使用の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[論理パーティション](#)」を参照してください。

位置情報フィルタの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム(System)] > [位置情報フィルタ (Geolocation Filter)] メニュー パスを使用して、地理的ロケーションとともに使用する地理的ロケーションのフィルタ、および論理パーティションをプロビジョニングするための論理パーティション ポリシーを設定します。

設定の詳細など、位置情報フィルタの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[位置情報およびロケーション伝達](#)」の章の「[位置情報フィルタについて](#)」および「[位置情報フィルタの設定](#)」を参照してください。

論理パーティション機能による位置情報フィルタの使用の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[論理パーティション](#)」を参照してください。

